



つうしん おにぎり通信

2022年1月29日(土曜) 四ツ谷おにぎり仲間

こんにちは！私たちは毎週土曜日に、四ツ谷、銀座、日比谷、秋葉原、日本橋、東京駅周辺で生活されている方々を訪問しているボランティアグループです。

今年(ことし)は寅(とら)年(とし)です。でも、同じネコ科(おな)の中(なか)でも、なぜネコ(みじか)ではなく、トラ(どうぶつ)なの(え)でしょうか。身近(みじか)な動物(どうぶつ)だと、イヌ(いぬ)もネズミ(ねずみ)もトリ(トリ)も干支(えと)になっている(な)のに、ネコ(ねこ)だけ(だけ)が仲間(仲間)外(外)れ(れ)です。中国(ちゆうごく)の昔(むかし)話(はなし)によると、ネズミ(ねずみ)に騙(だま)されて寝坊(ねぼう)したネコ(ねこ)は、順番(じゆんばん)を決(き)める争(あらそ)い(い)に出遅(でおく)れて13番目(ばんめ)となり、十二支(じゆうにし)に入(はい)れませ(ませ)んで(で)した。それ(それ)以来(いらい)、ネコ(ねこ)はネズミ(ねずみ)を(を)ひどく恨(うら)み、今(いま)でもネズミ(ねずみ)を見(み)ると捕(つか)まえよう(よう)とする(する)のだ(のだ)そう(そう)です。干支(えと)の(の)話(はなし)の(つづ)続(つづ)きは裏(うら)面(めん)で。

ふくしこうどう きぼう かた
福祉行動を希望の方は、

おにぎりを配る時に、お声がけください。

病院(びやういん)や生活(せいかつ)相(そう)談(だん)等(とう)で、福祉(ふくし)事(じ)務(む)所(じょ)に(に)行(い)く(く)こと(こと)を希(き)望(ぼう)さ(さ)れる(れる)方(かた)は、おにぎり(おにぎり)を(を)お渡(わた)し(し)に伺(うかが)った(た)際(さい)に声(こゑ)が(が)け(け)下(くだ)さい。毎(まい)週(しゅう)土(ど)曜(よう)日(にち)の訪(ほう)問(もん)活(かつ)動(どう)の(の)時(とき)に(に)お声(こゑ)が(が)け(け)頂(いた)だ(だ)した(した)場(ば)合(あ)い、翌(よく)週(しゅう)以(い)降(こう)に(に)福(ふく)祉(し)事(じ)務(む)所(じょ)ま(ま)で(で)同(どう)行(こう)し(し)ま(ま)す。

ちゆうおうくふくしじむしよ ちゆうおうくつきじ ちゆうおうくやくしよ かい
中央区福祉事務所・・中央区築地1-1-1 中央区役所4階

ちよだくふくしじむしよ ちよだくくだんみなみ ちよだくやくしよ かい
千代田区福祉事務所・・千代田区九段南1-2-1 千代田区役所3階



おにぎりを包むラップや読み終わった通信は、放置せずゴミ箱へ



おにぎりは、お1人1個で、その日のうちに召し上り下さい



四ツ谷おにぎり仲間 千代田区麹町6-5-1 聖イグナチオ教会

連絡先 080-7967-8672 (連絡可能時間 毎週土曜日午後3時~6時)

【ねこ年？】

干支は、「1、2、3・・・」といった順序を表すものです。「甲、乙、丙・・・」の十干も、干支のひとつです。十二支は、順番を数えるのに、「子、丑、寅・・・」という漢字が使われていましたが、覚えやすいように動物を当てはめました。ただ、それぞれの動物がなぜ選ばれたのかは、よく分かっていません。今年の「寅」は、矢を象った文字であり、トラが矢のように速く走るため当てはめられたという説があります。因みに、トラの英語tiger（タイガー）の元になっているのはペルシャ語で矢を表す tighri であり、トラを矢になぞらえるのは、世界共通です。

他の十二支の漢字では、「巳」はヘビ、「亥」はイノシシそのものです。それ以外の漢字は、「子（＝小さい・増える）」→ネズミ、「丑（＝ひも）」→（紐で引かれる）ウシ、「卯（＝獲物）」→ウサギ、「辰（＝貝の外に出ているベロ）」→竜（の舌）、「午（＝コツコツと突く杵）」→ウマ（の足音）、「未（＝葉がモコモコと生い茂る木）」→羊、といったあたりは何とか連想できそうです。しかし、「申（＝雷）」→サル、「酉（＝酒樽・酒壺）」→トリ、「戌（＝鉞）」→イヌ、といったあたりになると、こじつけようもない感じです。

であれば、人のとても近くにいるネコを当てはめたネコ年があっても良さそうなものです。世の中には、ネコ好きの猫派と、イヌ好きの犬派がいます。これまでに400万部以上が売れているベストセラー『バカの壁』の作者で医者の養老孟司は、「ネコは自分勝手に生きており、本当はそうしたいけど浮世の義理でなかなかそうできず辛抱しつつ暮らしているような人が猫派となるのに対して、そうしたことが苦にならず社会に上手く適応する人の多くは犬派である」と言います。社会に適応する世渡り上手な人は、出世して偉くなります。そういう犬好きの偉い人が、干支の動物を決めたのかもしれない。